

●発行者／リバイバルミッション
 ●〒441-1307 愛知県新城市富沢407-1
 ●TEL.0536-23-6712 FAX.0536-23-6220 〆0120-291-372
 ●office@j-revival.com http://www.j-revival.com



日本最初のリバイバルとその歴史

日本最初のプロテスタント教会は、明治の初期にジェームス・バラによって横浜に設立されました。そこでバラが祈祷会を始めると、聖霊が注がれ、多くの若者たちがクリスチャンとなりました。

そんな中、日本で最も大きくキリスト教が拡大した地域と村がありました。それが、愛知県北設楽郡津具村（現、北設楽郡設楽町津具）でした。なぜなら、津具村出身の二人の青年が横浜においてクリスチャンとなり、バラを津具村に招き、イエスキリストを伝えたからです。その結果、当時の津具村には多くのクリスチャンが生まれ、後に、日本のキリスト教界に大きな影響を与えることとなりました。今でも、当時を物語るかのように、津具にはバラによってクリスチャンとなり、後に、津具教会の牧師となった「村井興三吉」の顕彰碑がひっそりと

そびえています。そこには百二十軒ほどが名を連ねており、少なく見積もっても当時、五百名以上のクリスチャンが存在したことになります。バラは本国に、「日本でリバイバルが起こった」と手紙を出し、そこで初めて「リバイバル」という言葉が使われたと言われます。

津具の顕彰碑の書を記したのは、かの有名な「賀川豊彦」でした。賀川は闘病中、村井牧師を訪ねて励まされ、津具において「一粒の麦」という小説を著し、全国的に知られるようになりました。彼は病もいやされ、やがて世界に影響を与えるような人物となったのです。

津具村は当時、クリスチャン擁護派と反対派に二分されたほどでした。しかしながら日本に軍国主義が拡大し、国家神道により教会は迫害され、昭和四年ごろ、津具教会は閉鎖され、リバイバルの火は、跡形もなく消え去ったかのようなのでした。

しかし同年、津具村のキリスト教反対派

の家庭に、一人の男子が誕生しました。やがて彼は成長し、戦後上京し、クリスチャンとなって帰郷し、故郷が含まれる東三河を拠点に、日本のリバイバルを掲げて働くようになったのです。それが、リバイバルミッションの前身である、日本リバイバル・クルセードの創立者となった、私の父「滝元明」でした。

歴史をふり返る時、神は日本を愛し、リバイバルの火を継承されていることが分かります。リバイバルミッションの働きは、偶然に起こったものではなく、日本に灯火されたリバイバルの継承の一つに他なりません。

そして、その火は、これからも消えることはないのです！



リバイバルミッション顧問
滝元 順
 Jun Takimoto

全日本リバイバル甲子園ミッション | 30周年記念集会レポート



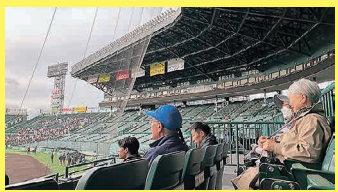
集会の様子が
YouTubeアーカイブ
で残っています。
ご覧ください。



2023年11月11日(土)「全日本リバイバル甲子園ミッション30周年記念集会」が兵庫県西宮市にある活けるキリスト教会—麦西宮教会において開催されました。



朝7時から30年前に甲子園ミッションの開かれた阪神甲子園球場前に祈りの勇士が集まり、「甲子園祈禱会」が持たれました。祈り会にスタッフ連より早く到着されていたのは、30年前、毎週土曜日に甲子園球場で集まって祈り続けて下さっていたご婦人のお二人でした。



30年という歳月を感じられないような空気感の中で、いつもと同じように球場を廻って祈るといふ自然な流れの中で、「日本にリバイバルを」と祈りながらみな祈っておられました。丁度この日は、全国高校野球OB野球大会が開催されており、全国から昔高校球児であったチームの皆さんが朝7時に球場に入っていくところでした。球場の係の方に「球場に入ってもいいですか?」と聞くと「大丈夫ですよ」とおっしゃって下さり、球場を一周回って祈った後に、場内に入るといふ祈ることゆるされました。誰もが30年ぶりに

球場に入り「私はこちら辺に座っていました」「甲子園ミッションの時の思い出される」と、神さまの特別な計らいを感謝しながら、「再びこの球場でリバイバルの集会ができるように」「日本にもう一度リバイバルの火が注がれるように」ととりなし祈りました。以前はとてつもなく大きく感じた甲子園球場が、30年を経てみると、不思議と小さく感じられるような祈りの時でした。

その後、祈りの勇士の数名の方がその足で、30年前に祈りに登っていた甲山にとりなしへ行って下さり、集会の祝福と日本のリバイバルを願ってお祈り下さいました。確かに主はリバイバルの祈りの火をこの30年たった今も燃やし続けておられることを感じた朝でした。



そして午後1時から4時は、活けるキリスト—麦西宮教会を会場にお借りし、記念の集会が行われました。甲子園ミッションのテーマソングの「主が声を出すと」の賛美から集会が始まりましたが、開会祈禱に立たれた神戸博央先生が「皆さんと賛美を歌い出しただけで感極まってしまいました」とおっしゃり、涙ながらに感謝の祈りをささげて下さいました。



その後、「全日本リバイバル甲子園への道」と題しての動画が流されました。甲子園ミッションがどのような経緯で始まって行ったのか、また甲子園ミッションの準備がどのように進んでいったのか、そして甲子園ミッションの本大会の様子を写真と共に紹介されました。その後、甲子園球場での集会を最初にビジョンを持って祈られていた御年89歳の下條末紀子先生が、短い時間でしたらとご挨拶に立て下さり、今も力強く私達の心にリバイバルの熱い火を投じて下さいました。また30年前、甲子園ミッションを共に戦って下さったベアンテ・ポーマン、ルリ子夫妻が演奏を持って証して下さいました。「私は30年前に初めて、電車や船の中で演奏しました。」とお話し下さり、変わる事のない素晴らしい演奏で私達を励まして下さいました。



その後、平岡修治先生による伝道者スピリットみなぎる熱いメッセージ「主にささげる」テーマでお話し下さいました。



今回集会に集まって下さっていた皆さんは、30年前に甲子園ミッションを体験された方々から、30年前は生まれていなかった若い世代が一体となって賛美、みことばを聞き、祈る集会でした。後半は、30年前から現在のリバイバルミッションの働きを紹介する動画があり、ワカモノ達の賛美やDuo B→Zのお二人の演奏がありました。「私たちは甲子園ミッションの時にはいません

でした。でもこのリバイバルの火を受け継いで燃やされて行きたいです」と次世代を担う若者が立ち上がっている姿を見ることが出来ました。



そして最後に滝元順師が講壇に立ち、日本のリバイバルは、確かに日本のキリスト教会の歴史から現在に至るまで主がなされておられるストーリーであることをお話し下さり、この30年を振り返るだけに留まらず、これからの日本のリバイバルを願ひ求めて続けていく時としての熱い火を投げ込んで下さる時となりました。次に主が日本になして下さるリバイバルをキャッチするためのネクストジェネレーションリバイバルを受け取る集会になった事を心から感謝しました。



2024年も伝道に邁進します!
Go To ミッションを
あなたの教会でも開催ください!!

2024年上半期スケジュール

- 1月24日[水]—28日[日] 関東地区
平岡修治 / 中村匡 [24-25] 安武玄晃 [26-28]
- 2月7日[水]—12日[月・祝] 関西地区
平岡修治 / 安武玄晃
- 2月21日[水]—25日[日] 中国地区
平岡修治 / Duo B→Z
- 3月6日[水]—10日[日] 沖縄地区
田中進 / 井草聖二
- 3月20日[水・祝]—24日[日] 中部地区
平岡修治 / 安武玄晃
- ※開催は当日の
席上献金のみで開催できます!
- ※500枚までチラシも無料でお送りいたします。
- お申し込み・お問い合わせは事務局まで。

- 4月3日[水]—7日[日] 東北地区
平岡修治 / 井草聖二
- 4月17日[水]—21日[日] 甲信越地区
平岡修治 / 安武玄晃
- 5月15日[水]—19日[日] 九州地区
滝元順 / チェ・ヨンドウ
- 5月22日[水]—26日[日] 四国地区
平岡修治 / 関真哉
- 6月5日[水]—9日[日] 北海道地区
有賀喜一 / 中村匡
- 6月19日[水]—23日[日] 北陸地区
平岡修治 / 石塚誠孝

R e p o r t s

9月～11月は四国地区(音楽ゲスト/中村匡)、関東地区(音楽ゲスト/井草聖二)、北海道地区(音楽ゲスト/チェ・ヨンドウ)、九州地区(音楽ゲスト/中村匡)にて開催されました。すべての地区で平岡修治先生がメッセージを語ってくださり、どの集会にも新しい主を求め方が集われ、主のみわざを拝する時となりました。11月下旬には2023年最後のツアーが沖縄地区(音楽ゲスト/安武玄晃)にて開催されます。引き続き日本の福音宣教が前進するようお祈りください。

Pray for Revival Christmas Special

シンガーズの歌声と祈りで日本の暗闇を打ち破れ!

見よ。やみが地をおおい、
暗闇が諸国の民をおおっている。
しかし、あなたの上には主が輝き、
その栄光があなたの上に現れる。
イザヤ書60章2節



Pray
for
Revival

祈りの課題(個人、教会)がある方は、以下の
メールアドレスまで祈りの課題をお寄せ下さ
い。集会の祈りの中で、皆で共有し祈ります。
revivalmission.pray@gmail.com



滝元明ミニストリー

クリスマス伝道コンサートのためにお祈り下さい!
メッセージ/平岡修治師
ゲスト/マキータ、ジョン・フルカー、ティム・ケブラー、他
12月7日(木) グレイスライフチャーチ(静岡)
12月8日(金) 西尾聖書バプテスト教会(愛知)
12月9日(土) 新城教会(愛知)
12月10日(日) クリスチャンウェイ(愛知)
12月13日(水) ハートフルトポス(京都)
12月14日(木) Pray For Revival(愛知)
12月15日(金) クリスチャンライフ(愛知)
12月16日(土) 神の家族キリスト教会(東京)
12月17日(日) 新神戸リバイバルチャーチ(千葉)

2023
12/14(木)
am10:00配信! Start

スペシャルゲスト |
マキータ
Makida (ヴォーカル)
ジョン・フルカー
John Flaker (ヴォーカル・キーボード)
ティム・ケブラー
Tim Kepler (ヴォーカル)
田中進
Shinji Tanaka (メッセージ)



12/16(土) すりだぶChristmas FES! ~Joy to the world!~
18:30 Open 19:00 Start
at 新城教会会堂 YouTubeでも配信されます。

12月のすりだぶは伝道集会

すりだぶメンバーで構成されたスペシャルバンドやBack 2 Edenによるコンサートタイム、
神戸輝明先生[笠井キリスト福音教会]によるゴスペルメッセージ、
皆さんで楽しくクリスマスをお祝いしましょう!

入場無料
自由献金

戦略的
とりなしと
調査専門課程
12月

ハイブリッド開催

12月2日[土] 10:00—16:15

受講料 / 5,500円(内消費税500円)全3セッション 講師 / 瀧元望ほか

参加
方法

- ①会場での参加
- ②Zoom参加(顔出しなし、視聴のみの参加も可能)
- ③後日ビデオ配信視聴での参加

スケジュール

- セッション① 10:00~11:30
昼食(会場参加者のみ600円別途必要)
セッション② 13:00~14:30
セッション③ 14:45~16:15

会場

リバイバルミッションセンター

※①会場での参加は、先着10名様までとさせていただきます。
お申し込み締め切り→11月27日[月]

12月は、「とりなしと教会」をテーマに学びます。一つは、戦後直後から日本に宣教師としてこられた方々が、富山県に日本のリバイバルのために祈る為に集まったという出来事を綿密な調査と聞き取りをして下さった方の報告を聞きます。そして、戦前、戦後のペンテコステ聖霊派の流れと歴史に関してもすでにされている研究資料から学びます。これらから、日本の教会に主が下さっているバイバルの鍵を受け取りたいと願っています。とても興味深い学びになります。是非、ご参加下さい。



Zoomdeフェロシップ6月のお知らせ | 参加費無料!!

Zoom deフェロシップは、参加費無料でどなたでもご参加頂ける、クリスチャンの交わりの場として提供させて頂いています。ぜひご参加下さい!
●お申し込みはホームページまたは事務局にお電話でお申し込み下さい。

ワカモノトークルーム
12月4日[月] 20:00~
MC●杉浦美紀、瀧元栄主、田中咲

韓国語
12月12日[火] 20:00~
講師●チェ・ヨンドウ

神学校OB
12月26日[火] 20:00~
ゲストは日吉真実先生

新フェロシップのお知らせ
平岡新人先生による
信仰のはじめの一步
2023年1月25日[木]
スタート

1fri	
2sat	とりなしと調査専門課程 ZWSオンライン
3sun	
4mon	Zoom de F ワカモノ
5tue	
6wed	
7thu	
8fri	
9sat	ZWS東京
10sun	
11mon	
12tue	Zoom de F 韓国語
13wed	
14thu	Pray for Revival
15fri	
16sat	WWW
17sun	
18mon	
19tue	
20wed	
21thu	
22fri	
23sat	
24sun	
25mon	Zawameki 同刻プレイズ
26tue	Zoom de F 神学校OB
27wed	
28thu	
29fri	
30sat	
31sun	

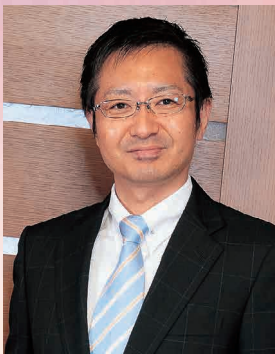
2024新春 リバイバル聖会

1/6 土 13:00—16:00

入場無料
席上献金あり

会場／お茶の水クリスチャンセンター[8階チャペル]
メッセンジャー／小山健、有賀喜一、平岡修治、滝元順
賛美リード&ゲスト賛美／堀井ローレン

新年のスタートは
ひたすら主を求めて！
新春リバイバル聖会
2024年の
みことばを受け取ろう！



小山健 | Ken Koyama

1980年、牧師家庭に生まれる。一時信仰の伴わない生活を送るも、大学受験失敗の経験を通し、主の前に立ち返る。南山大学人文学部卒業後、中日新聞社(事業局)に入社。新聞社主催イベントの企画・運営を担当。イベント・プロデューサーとして愛知万博、大相撲名古屋場所、中日ドラゴンズ優勝パレード、など様々なイベントに携わる。2009年に献身し、渡米。米国のタルボット神学校にて宣教学・弟子訓練学・牧会学を専攻し神学修士(M. Div)取得。岐阜純福音教会主任牧師、関西聖書学院(KBI)教師。第7回日本伝道会議講師。



堀井ローレン | Lauren Horii

両親が宣教師として働く東京で生まれ幼少の頃から教会で音楽に触れ育つ。ハワイ州Pacific Rim Bible College賛美・芸術学部を卒業。在学は毎週末1万人以上が集まるNew Hope Oahuでソングリーダーとして活躍。帰国後Lauren Kaoriとして音楽作家活動を開始。J-POP、K-POPのジャンルを中心に数多くのアーティストの作詞・作曲に携わり、手がけた楽曲がオリコンチャート1位獲得やNHK紅白歌合戦で歌唱される。ボーカルコーチング、バックコーラス、ナレーション等多方面で活動。2014年に超教派の賛美集会「ENCOUNTER」を発起。YouTube、SNS、教会や学校でのコンサートなど様々な活動。パーシスト堀井慶一の妻。二児の母でもある。



霊的戦い、専門課程

第12期Vol.3
講師／滝元順、鈴木陽介ほか
※配信開始予定12月4日～
受講料：8,800円／1回10セッション

第12期Vol.4 ハイブリッド開催
日程／1月22日[月]—23日[火]
※配信開始予定2月5日～
※配信は12期終了2024年9月末まで視聴可能

●会計報告2023年9月度

いつもリバイバルミッションのためにお祈りご支援くださり、心から感謝いたします。9月は、専門課程の年間受講料と皆様のご支援で、プラスになっていますが、依然として経済的には厳しい状態が続いています。30年前の甲子園大会から幾度もピンチがありましたが、皆様のおかげで乗り越えられてきたことを本当に感謝いたします。今後も日本のリバイバル、そして何よりも魂の救いのために全力で進みますので、引き続き皆様のお祈りとご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

●献金送付先.....
三菱UFJ銀行／名古屋営業部 普通 2569313
ゆうちょ銀行／振替口座 00860-0-33814
クレジットカードによる献金 <http://j-revival.com/rm/card/>



収入		支出	
前月繰越金	-5,392,731		
一般献金	2,339,474	事務運営管理費	1,205,028
集会献金参加費	0	一般旅費交通費	49,459
国内宣教指定	942,913	通信費	406,354
世界宣教指定	20,600	印刷費	193,831
霊的戦い部門指定	1,041,850	国内宣教諸経費	374,598
ざわめき指定	209,903	集会諸経費	94,764
		霊的戦い諸経費	49,956
		ざわめき諸経費	343,724
		銀行借入返済	349,956
収入合計	4,554,740	支出合計	3,067,670
		次月ミッション繰越金	-3,905,661



フリーダイヤル ☎0120-291-372
〒441-1307 愛知県新城市富沢407-1
TEL.0536-23-6712 FAX.0536-23-6220
✉office@j-revival.com
URL: <http://www.j-revival.com>

※次回1月号のニュースは12月17日(日)発行予定です。



リバイバルミッション情報
祈りのLINE登録してお祈りください!



リバイバルミッションのホットな情報と祈りのリクエスト、集会の様子などを配信します!
●友達登録方法・・・「友達追加」からQRコードリーダーにてQRコードを読み込んで登録



それぞれフォロー、登録して下さい。
YouTube Facebook, Instagram, X, YouTubeのアカウントがあります。